

パリ・ニューヨーク

星の音

浅雅 まじり

Maturi Asaga



青山ライフ出版

星の音
目次

空飾る	パリ	5
第一章	7	
第二章	23	
第三章	47	
第四章	79	
パリの夏	99	

名前と年齢

ショートエッセイ

215

第五章

197

第四章

173

第三章

151

第二章

129

第一章

107

星の音

ニューヨーク

105

空飾る

パリ



第一章

入国だ冷たい空気深く吸う

初めての海外旅行を一人でする

ホテルは予約していない

アンカレジ経由、パリ二週間である

出発の二か月前、ホテルに手紙を書いた

フランス政府観光局のホテルリストで見つけた格安のホテルだ

「料金がお安いようですが、お間違いではございませんか？

お間違いでなければ、

十一月×日から十二月×日まで予約させていただきます」

返事は、ドンブリコ、ドンブリコと船便でやってきた

同封した国際返信用クーポンの枚数が足りなかったらしい

「料金に間違いはございませんが、あいにくこの日は

予約が入っています。またの機会にどうぞ」

飛行機の出発予定日まで、もう十日しかない

どうしようと思っているうちに、一週間を切ってしまう

国際電話で新たにホテルを探すには、フランス語の自信がない

エエイツ！ 行ってしまう

行って向こうで探そう

パリに到着する

入国カードの滞在場所には泊まる予定のホテル名を書く

入国審査で、パリに知人がいるかと聞かれる

知人はいないが、チェックでお金をたくさん持っていると言え

フランス語が通じ、無事入国する

枯れた蔦ラテン語地区に宿取った

ホテル案内所に行く

希望するホテルを第一から第三まで
マークしてあるホテルリストを示す

第一希望は、すでに満室だ

第三希望まで満室の場合は、

どこでもいいから予約してくださいと
いうフランス語を頭の中でなぞる

お金は、フラン建てと米ドル建ての

トラベラーズ・チェックを十分持っている

第二希望に決まる